



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当兼業務支援担当兼企業統括部長 (氏名) 増川 尚利

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	29,343	△2.1	2,913	16.1	2,992	33.8	1,997	34.7
29年3月期第3四半期	29,966	△1.2	2,509	12.8	2,237	3.5	1,483	△12.9

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 2,785百万円 (46.9%) 29年3月期第3四半期 1,896百万円 (△0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	108.86	—
29年3月期第3四半期	80.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	48,129		37,552			75.6
29年3月期	44,830		35,735			77.2

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 36,362百万円 29年3月期 34,625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				26.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	2.6	3,600	4.5	3,500	12.1	2,200	13.2	119.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	23,513,701 株	29年3月期	23,513,701 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	5,168,398 株	29年3月期	5,168,185 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	18,345,392 株	29年3月期3Q	18,345,536 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢、所得環境の改善を背景に全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。一方海外は、米国の政策運営の影響、新興国経済の減速懸念、近隣諸国の地政学リスクの高まり等不安定な国際情勢が続く、日本経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当事業の主要分野であります食品業界におきましては、根強い節約志向の継続により企業を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中で当社グループは、引き続き対処すべき課題として

- ①市場変化への対応
- ②販売の強化（グローバル化）
- ③品質管理体制の維持・強化
- ④環境への取り組み
- ⑤人材育成
- ⑥業務改善による全体最適化

を掲げ、企業価値の向上に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、不採算製品の見直し等により293億43百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。営業利益は、原材料価格の低減等により29億13百万円（前年同四半期比16.1%増）、経常利益は、為替差損の計上が前年同四半期より減少したこと等により29億92百万円（前年同四半期比33.8%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は19億97百万円（前年同四半期比34.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次のとおりであります。

■ ニュートリション事業

医療、健康食品及び飲料業界等にカテキン（緑茶抽出物）、テアニン（機能性アミノ酸）、水溶性食物繊維等の機能性食品素材、ミネラル製剤、ビタミン製剤等を製造、販売しております。

水溶性食物繊維は、米国市場のサプリメント用途が減少いたしました。国内市場の医療用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

カテキンは、国内市場の菓子用途及び欧米、アジア市場のサプリメント用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

ミネラル製剤は、アジア市場の飲料用途が減少いたしました。国内及び欧米市場の飲料・サプリメント用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

テアニンは、米国市場のサプリメント用途が増加いたしました。国内及びアジア市場のサプリメント用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

ビタミン製剤は、国内市場の飲料用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

この結果、売上高は、52億83百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は、10億8百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

■ インターフェイスソリューション事業

乳製品、飲料、菓子、パン、加工油脂等の業界、及び化粧品、トイレタリー業界等に、乳化剤等の品質改良剤を製造、販売しております。

化粧品、トイレタリー用途は国内市場及び海外市場が増加し、飲料用途は国内市場が減少いたしました。一般食品用途は前年並みに推移いたしました。

この結果、売上高は、66億円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は、11億89百万円（前年同四半期比16.3%増）となりました。

■ アグリフード事業

乳製品、飲料、菓子、パン、ハム・ソーセージ、即席めん、農産加工業界等に、鶏卵加工品、たん白素材、即席食品用素材、フルーツ加工品、農産加工品等の食品素材、品質改良剤、安定剤等を製造、販売しております。

鶏卵加工品は、ハム・ソーセージ用途の粉末卵が大幅に減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

即席食品用素材は、アジア市場の即席めん用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

フルーツ加工品は、冷菓用途が減少いたしました結果、売上高は前年を下回りました。

安定剤は、医療食用途は減少いたしました。惣菜用途が増加いたしました結果、売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は、173億39百万円（前年同四半期比7.0%減）、営業利益は、6億93百万円（前年同四半期比25.3%増）となりました。

■ その他

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は、1億20百万円（前年同四半期比13.3%減）、営業利益は、22百万円（前年同四半期比131.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して32億99百万円増加して、481億29百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加1億96百万円、受取手形及び売掛金の増加10億63百万円、商品及び製品の増加4億7百万円、建物及び構築物の増加1億97百万円、土地の増加7億51百万円、投資有価証券の増加7億73百万円、原材料及び貯蔵品の減少1億88百万円です。

負債は、前連結会計年度末に比較して14億83百万円増加して105億77百万円となりました。主な負債の変動は、支払手形及び買掛金の増加15億6百万円、固定負債その他の増加2億37百万円、未払法人税等の減少3億17百万円、流動負債その他の減少1億28百万円です。

純資産は、前連結会計年度末に比較して18億16百万円増加して375億52百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益19億97百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加5億4百万円、為替換算調整勘定の増加1億39百万円、配当金の支払による減少9億17百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の77.2%から75.6%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,270,940	8,467,334
受取手形及び売掛金	10,359,189	11,422,941
商品及び製品	2,962,568	3,369,665
仕掛品	389,635	378,651
原材料及び貯蔵品	1,798,224	1,609,396
その他	1,042,257	1,086,522
貸倒引当金	△12,005	△24,247
流動資産合計	24,810,810	26,310,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,818,480	5,016,400
土地	6,038,562	6,790,066
その他(純額)	2,386,134	2,374,016
有形固定資産合計	13,243,177	14,180,484
無形固定資産		
のれん	28,863	16,672
その他	201,132	215,003
無形固定資産合計	229,996	231,676
投資その他の資産		
投資有価証券	4,332,863	5,106,539
その他	2,230,420	2,313,950
貸倒引当金	△16,950	△12,950
投資その他の資産合計	6,546,333	7,407,540
固定資産合計	20,019,507	21,819,700
資産合計	44,830,318	48,129,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,302,282	6,809,092
短期借入金	-	71,200
未払法人税等	690,436	372,607
賞与引当金	238,236	337,018
その他	1,635,239	1,506,777
流動負債合計	7,866,194	9,096,696
固定負債		
退職給付に係る負債	218,389	220,971
役員退職慰労引当金	386,838	399,829
その他	622,926	859,987
固定負債合計	1,228,154	1,480,788
負債合計	9,094,348	10,577,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,674	7,918,674
利益剰余金	22,045,797	23,125,151
自己株式	△4,612,572	△4,612,842
株主資本合計	33,082,521	34,161,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,481,176	1,985,809
繰延ヘッジ損益	9,230	10,538
為替換算調整勘定	104,432	244,129
退職給付に係る調整累計額	△52,170	△39,597
その他の包括利益累計額合計	1,542,669	2,200,880
非支配株主持分	1,110,778	1,189,994
純資産合計	35,735,969	37,552,479
負債純資産合計	44,830,318	48,129,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	29,966,286	29,343,808
売上原価	23,131,604	21,816,069
売上総利益	6,834,681	7,527,738
販売費及び一般管理費	4,325,549	4,613,913
営業利益	2,509,132	2,913,825
営業外収益		
受取利息	30,528	27,990
受取配当金	42,095	45,611
持分法による投資利益	-	34,664
その他	35,584	62,752
営業外収益合計	108,208	171,019
営業外費用		
支払利息	13,142	8,682
貸与資産減価償却費	4,752	6,476
為替差損	304,178	1,258
持分法による投資損失	42,221	-
支払補償費	-	48,144
その他	15,813	27,911
営業外費用合計	380,107	92,474
経常利益	2,237,232	2,992,370
特別利益		
その他	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除売却損	24,948	37,672
投資有価証券評価損	-	1,828
その他	0	-
特別損失合計	24,949	39,501
税金等調整前四半期純利益	2,212,284	2,952,869
法人税等	631,929	872,762
四半期純利益	1,580,354	2,080,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	97,285	83,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,483,069	1,997,094

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,580,354	2,080,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332,848	497,635
為替換算調整勘定	△46,450	179,432
退職給付に係る調整額	10,399	12,573
持分法適用会社に対する持分相当額	19,127	15,300
その他の包括利益合計	315,924	704,941
四半期包括利益	1,896,278	2,785,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,798,530	2,655,305
非支配株主に係る四半期包括利益	97,747	129,742

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,005,945	6,169,822	18,651,580	29,827,348	138,937	29,966,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,005,945	6,169,822	18,651,580	29,827,348	138,937	29,966,286
セグメント利益	923,048	1,022,680	553,581	2,499,311	9,821	2,509,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ニュー トリション 事業	インター フェイス ソリューション 事業	アグリ フード 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,283,349	6,600,504	17,339,547	29,223,400	120,407	29,343,808
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,283,349	6,600,504	17,339,547	29,223,400	120,407	29,343,808
セグメント利益	1,008,054	1,189,583	693,433	2,891,071	22,753	2,913,825

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、料理飲食等の事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメントの組替について)

第1四半期連結会計期間から「インターフェイスソリューション事業」に含まれていた一部製品につきましては、事業部製品の再編により、天然物としての特性を活かした販売戦略にするため、「アグリフード事業」に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。